

2017年9月20日

報道関係各位

福祉用具の欧州地域への輸出拡大に注力

世界最大規模の国際福祉機器展「REHACARE2017」に出展
国内で実績のある「自動寝返り支援ベッド」など、15点を展示

フランスベッドホールディングス株式会社

フランスベッド株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:池田 茂)では、介護ベッドや車いすなどの欧州地域への輸出拡大を図る足掛かりとして、来る2017年10月4日(水)から7日(土)までの間、ドイツのデュッセルドルフで開催される国際福祉機器展「REHACARE(リハケア)2017」に出展いたします。

フランスベッドグループでは、2012年6月に中国に江蘇フランスベッド株式会社を設立し、同国内で福祉機器レンタルサービスを展開するなど、海外事業拡大に注力しています。日本や中国同様に欧州地域では急速な高齢化に伴い要介護者の増大が予想され、2025年には人口の20%の1億人が65歳以上、5%の2,500万人が80歳以上となる^{*}とされています。これを踏まえフランスベッドでは、欧州地域を介護事業の安定的な成長が見込める地域と位置付け、昨年初めて「REHACARE」に出展しました。昨年に引き続き、国内での実績や安全性・機能性・技術力に優れた当社の商品力を訴求し、欧州地域への輸出拡大を図ることを目的に、本年も出展いたします。

国際福祉機器展「REHACARE2017」では、2017年5月に発売した「自動寝返り支援ベッド」と赤ちゃん型コミュニケーションロボット「泣き笑い たあたん」を初出展。また、前後の転倒を予防する新機能車いす「転ばないス」の海外モデルや、約30年前より欧州地域を中心に輸出している全身指圧マッサージ機「ツボヘルサー」を展示します。さらに、電動リクライニングマットレス「RP-1000」、ベッド内蔵型の見守りロボット「見守りケアシステム M-2」、LEDライト内蔵の「光る杖 ライトケイン」など、全15商品を出展予定です。

「REHACARE2017」は、最新の福祉・リハビリ機器が展示される世界最大規模の国際福祉機器展です。毎年ドイツで開催され、昨年は36ヶ国916社(日本企業8社)が出展。介護・リハビリを必要とする方々やそのご家族、施設関係者、バイヤー、メーカーなどの約49,000人の来場が予想されます。

国際福祉機器展「REHACARE(リハケア)2017」出展概要は下記の通りです。

※出典 「ジェトロセンサー」2014年11月号 出版社:日本貿易振興機構(ジェトロ)



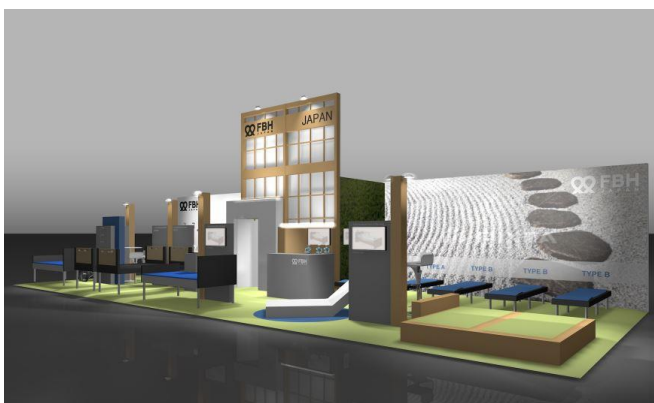
フランスベッドホールディングス株式会社

国際福祉機器展「REHACARE(リハケア)2017」出展概要

【「REHACARE2017」概要】

- 開催日: 2017年10月4日(水)~7日(土)
- 開場時間: 10:00 - 18:00 (最終日は 17:00 まで)
- 会場: デュッセルドルフ見本市会場/ドイツ
- 主催: メッセ・デュッセルドルフ
- 出展対象製品・技術・サービス:
日用ケア用品/飲食物関連/パーソナル・ケア及び衛生/移送機器、車椅子、移動補助機器/
コミュニケーション/バリアフリー建築、家具/専門教育、トレーニング/作業、就労関連/物理
療法、作業療法/整形外科用品/看護ケア、医療ケア/衣類及び保護用品/レジャー、スポー
ツ、ゲーム用品/旅行関連/関連団体/子供向け用品/その他サービス

【フランスベッド出展概要】



ブースイメージ



「自動寝返り支援ベッド」

- 出展テーマ: 豊かさやさしさのある暮らしを実現するアイテムの提案
- 出展ブース: 5/E35 FBH Japan
- 出展スペース: 90 m²
- 主な展示商品(全 15 商品):
 - ・介護者の身体的負担を軽減する「自動寝返り支援ベッド」
 - ・赤ちゃん型コミュニケーションロボット「泣き笑い たあたん」
 - ・前後の転倒を予防する新機能車いす「転ばないス」
 - ・全身指圧マッサージ機「ツボヘルサー」
 - ・電動リクライニングマットレス「RP-1000」
 - ・ベッド内蔵型の見守りロボット「見守りケアシステム M-2」
 - ・LEDライト内蔵の「光る杖 ライトケイン」 など

■本資料に関する報道機関からのお問い合わせ
フランスベッドホールディングス(株)
経営企画室 広報 IR 課 TEL: 03-6741-5505